

art-life+ vol.8 手塚愛子展 「薄い膜、地下の森」開催

spiral.

2007年1月5日（金）～18日（木）スパイラルガーデン（スパイラル1F）

この度、スパイラル／株式会社ワコールアートセンターは、art-life+ vol.8 手塚愛子展「薄い膜、地下の森」を、2007年1月5日（金）から18日（木）まで、スパイラルガーデンで開催する運びとなりました。

スパイラルが主催する「art-life」シリーズは、次世代を担う若手アーティストを起用し、作品発表の機会を提供するとともに、社会におけるアートの新しい可能性を提案する展覧会シリーズで、8回目を迎える個展形式の「art-life+」には、今までにメディアアートユニット「h.o」や鈴木太郎をはじめとするアーティストが参加しました。

鑑賞者を包み込む、刺繍系の森

手塚愛子は、ゴブラン織やジャカード織を解き、その表面に潜んでいた長い糸を取り出し平面で再構成する作品で、本来完成した作品に現れることのない、制作過程で取り除かれるものを表現しています。

今回は、スパイラルガーデンの吹き抜けアトリウムに直径7メートルの刺繍を浮かべ、刺繍を構成する太い糸を人間が潜れるよう吊り下げること、吹き抜けの上からは刺繍を、刺繍の下からは刺繍の背後にある大量の糸を見ることができる作品を制作しました。

この作品は、ただ静的に鑑賞するだけでなく、上から刺繍を眺め、中に入り込み迷路のような刺繍系の森と戯れることで、初めてその全貌が明らかになります。

そして、作品の全貌に触れることで、私たちが普段見ているものは物事の断片で、それらには必ず通時的な背景があり、共時的な他者との関係性で生産され、成立しているという、社会の側面にも触れることができます。



見えなかった出来事を明らかにする、解体された織物

会場内には、この他に織物を解体した作品やドローイングなど、糸と一緒に織り込まれていた人々の想いや、作り上げるのに要した時間など、私たちの目に見えるようには織り上がらなかった事象を表現する作品から、旧作数点と小品やドローイング数点を併せて展示します。

手塚愛子は、こうした絵画作品で、物事の表層に現れない、秘められた出来事を可視化しています。

お問い合わせ

広報担当：渡邊モイチ、関野玲子、津留崎麻子
スパイラル／株式会社ワコールアートセンター
〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23
Tel: 03-3498-5605(広報) Fax: 03-3498-7848
E-mail: press@spiral.co.jp

スパイラル／株式会社ワコールアートセンターは、株式会社ワコールが100%出資して1985年に設立した関連会社です。東京・青山の複合文化施設「スパイラル」を拠点に、アートの事業化を目指し、展覧会やイベントの企画、生活雑貨の販売、CDレーベルの運営、エステティックサロン、レストランなど、幅広い事業を通して、生活とアートの融合したライフスタイルを提案しています。

開催概要

名 称 : art-life+ vol.8+ 手塚愛子展「薄い膜、地下の森」
 会 期 : 2007年1月5日（金）～18日（木）11:00～20:00
 会 場 : スパイラルガーデン（スパイラル1F）
 東京都港区南青山5-6-23 東京メトロ表参道駅B1出口すぐ
 Tel. 03-3498-1171
 主 催 : 株式会社ワコールアートセンター
 企画制作 : スパイラル
 協 力 : ハマナカ株式会社、株式会社日の出テント、株式会社山口忠兵衛商店

手塚愛子略歴

1976年東京都生まれ。武蔵野美術大学造形学部油絵学科、武蔵野美術大学大学院造形研究科油絵コースを経て2005年京都市立芸術大学大学院博士（後期）課程油画領域修了、博士号（美術）を取得した。

個展

2005年 INAXギャラリー（東京）
 海岸通ギャラリーCASO（大阪）
 2004年 アートコートギャラリー（大阪）
 2001年 東京アートファクトリー（東京）
 2000年 ギャレリアラセン（東京）

グループ展

2006年 越後妻有アートトリエンナーレ（十日町／新潟）
 2005年 VOCA展（上野の森美術館／東京）
 2004年 take art collection（スパイラル／東京）
 京都府美術工芸新鋭選抜展（京都府立文化博物館／京都）
 2003年 take art collection（スパイラル／東京）
 Art Court Frontier（アートコートギャラリー／大阪）

受賞歴

2005年 VOCA賞佳作賞



弛緩する織物

2005年

Photo: Masaru Yanagiba



二種類の織物から引き抜かれた糸

2004年

Photo: Kauzo Fukunaga



織り直し

2005年

Photo: Masaru Yanagiba



縦糸を引き抜く—五色

2004年